

環境配慮型製品の開発



マテリアリティの選定理由	FSGは環境側面を考慮した商品とものづくりが人類共通の重要課題であると認識しています。そのために環境配慮型製品を開発し、事業活動を通じてFSGだけではなくお客様をも含めた環境に対する目標の達成を実現していきます。
マテリアリティのKPIについて	気候変動・海洋プラスチック問題・資源枯渇といった環境課題を解決しながら、社会の持続性に加え、企業としての持続的な成長を行うために、環境配慮型製品の開発・供給に重点を置いた「価値を創造する」取り組みを進めていきます。

定性目標	KPI(重要業績評価指標) 2025年まで	現状数値 (2022年3月末現在)	主な取り組み	社会に提供する価値
<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動・資源枯渇・生物多様性に関するサプライチェーン全体での環境負荷低減 ● 環境活動の事業戦略への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型製品売上 100% ● 再生可能設計製品売上 50% ● 再生材使用製品売上 20% ※2025年目標 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型製品売上 65% ● 再生可能設計製品売上 4% ● 再生材使用製品売上 4% 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能設計製品の開発・展開 ※RecShrink™、モノマテリアルパウチ など ● 再生材使用製品の開発推進・上市 ※再生PETシュリンクラベル、再生PETタックラベルなど ● エネルギー・GHG削減が可能な包材や輸送方法や製造システムの開発・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動の緩和 ● 水質・大気・土壌への環境負荷の低減 ● 生物多様性の保全 ● 環境配慮技術の革新 ● 製品・サービスを通じて環境配慮の啓発活動

～ 2021の取り組み

再生可能設計製品や再生材使用製品を筆頭に、環境配慮型製品の開発・展開に取り組んでいます。

フジパウチ®の付け替え用途への拡充や、モノマテリアルパウチ、植物由来ラベル・インキ、水性インキ、薄膜ラベルおよび装着機械・納品システムの開発等を実施して、環境課題の解決に向けた取り組みを実施しています。

達成に向けた取り組み

再生可能設計製品の主力であるRecShrink™の拡販へ向けた取り組みを実施し、米州では20%近くまでシェアを拡大しました。欧州、アセアンでも採用が始まり、資源循環の促進に向けて、引き続き再生可能設計製品拡大に向け取り組みます。

再生材使用製品については、日本では2009年以降、多様な再生プラスチックラベルを上市し、欧米でもテストマーケティングを開始しています。

フジシールグループの環境配慮型製品



Topic

eコマースにおける環境配慮取り組み ～モノマテリアル素材を使用したパウチの展開～

パウチの再生可能設計として、モノマテリアルフィルムを使用したパウチとはがしやすいタックラベルをセットで木村石鹼工業株式会社よりeコマース販売されました。株式会社 G-Placeと3社で、消費者からの回収・水平リサイクルの実証検証を実施中です。また、本製品はポストイン可能なeコマースパッケージをご採用いただき、再配送をなくすことにより温室効果ガス削減にも貢献しました。



eコマース用ポストインパッケージの特徴

